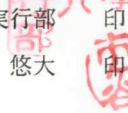


2023 年度 工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部

工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部

部長 市ヶ谷 悠大

総括



1. 組織構成

学園祭実行委員会八王子祭実行部は、部長、副部長、会計の三役に加え、渉内局、渉外局、アルケータ局、コンサート局、広報局、資材局、イベント局、企画局の計 8 局、2 年生 56 人と 1 年生 61 人で構成される。

2. 方針

本実行部は、本学学生と参加団体に重きを置き、本実行部員の人材を最大限に生かし、八王子祭を企画・運営し、八王子祭を盛り上げることで、工学院大学全体を盛り上げる。今年度は、コロナ禍明け初開催の昨年度から新型コロナウイルス感染症流行前の八王子祭に回復させ、世界観の創造・広報活動・来場者の回転率の三点に力を入れる。テーマに沿った世界観を創造し、来場者を非日常的な世界に引き入れ、八王子祭全体を盛り上げる。また広報活動の拡大によって、八王子祭の来場者数を増加させ、大学の広報、企業との関係性の発展を図る。さらに来場者を様々なコンテンツへ誘導し、回転率を向上させることで、八王子祭全体の盛り上がりを底上げする。さらに、新宿祭実行部と協力し、2 つの学園祭で成功を収める。

3. 目的

(ア) プレ八王子祭

学生と近隣住民と本実行部の繋がりを強め、八王子祭の広報をし、八王子祭の集客率を上げると共に、本実行部員に企画・運営の基礎を作らせ、八王子祭の発展に寄与する。

(イ) 八王子祭

外部企業との協力関係をより強固なものにし、学園祭の広報をすることにより、大学の広報に繋げる。さらに参加団体の発表の場を発展させ、大学の広報に寄与する。またキャンパスを、テーマによる世界観で、来場者が現実と乖離する中で楽しめる環境を作り、八王子祭を運営する。

(ウ) 新宿祭

新宿祭実行部だけでは運営をすることができない部分を、本実行部で補う。さらに、1 年生が企画を行うことで、新宿祭企画をより良いものにし、連携を強める。

4. 活動内容

(ア) 全体会議

毎週水曜日に本実行部員を集め、情報共有を主にする場として開催した。情報共有の際、視覚的に工夫を施し、局間での情報の差異を無くし、実行部員全体の意識を統一させるために行った。

(イ) プレ八王子祭

主に本学学生と近隣住民を対象として開催した学園祭である。学生団体に、模擬店を運営してもらい、ステージ企画や常設型企画を行うことで、プレ八王子祭全体を盛り上げ、八王子祭の集客につなげることと、ステージ企画

では、学生自治会常任委員会八王子支部と学科連合委員会八王子支部との協力体制を築き、各団体の特色を活かした企画を行うことを目的とした。またプレ八王子祭終了後から始まる歩け歩け大会との、相互作用によりプレ八王子祭と歩け歩け大会の双方を盛り上げた。さらに、参加団体だけではなく本実行部 1 年生にも発表の場を経験させることで本委員会の委員としての自覚を持たせ、かつ、本実行部員が運営を経験することで八王子祭の質を底上げすることができた。

(ウ) 歩け歩け大会

プレ八王子祭終了後の深夜 0 時から、八王子キャンパスから新宿キャンパスまでの 43 km を歩く企画を開催した。本大会では、参加者が助け合い歩くことで、仲を深めて、今後の学生生活の糧とした。さらに工学院大学の情報を発信することで工学院大学の広報に繋げることを目的とした。本大会の参加者は、67 人であった。今回の運営では、準備段階における組織バランスの悪化による広報面の衰退が問題点として挙げられる。この点の改善に関しては、次年度に引き継いでいくことで問題点を改善し参加人数の向上を図っていく。

(エ) 八王子祭

本実行部は、来場者を楽しんでもらうことと、本学の学生団体にとっても満足感のある成果発表の場となるようにした。また外部企業との関係性を強化し八王子祭全体を盛り上げることを目的とし、10 月 7 日、8 日に第 61 回八王子祭を開催した。今年度は「Chilli Beans.」によるアーティストライブ、「バンビーノ」と「インボッシブル」による芸能企画、キャンパスコモンでのメインステージ、模擬店、2 号館での第 2 ステージ、1 号館と 15 号館での教室展示、常設型企画、15 号館 2 階でのゲーム企画、東門、受付門、装飾展示を行った。アーティストライブは、617 人、芸能企画は 284 人の動員数となった。また今年初の企画であるゲーム企画は、各大会満席もしくは 8 割近くの出場者を動員し、観戦者も多くの人々が来場した。また、キャンパス各所に飾られた装飾や各受付門、東門により、八王子祭独特の雰囲気味わってもらうことが出来た。今年度は、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症明け 2 年目の完全開催となった八王子祭だが、近年過去最高来場者数に迫る、3610 人の来場者に八王子祭を堪能していただいた。

本実行部としては、新型コロナウイルス感染症明けでつなげていくという意識で、1 年間八王子祭を運営してきて、昨年度から 1000 人以上多くの人に八王子祭を楽しんでもらい、活気のあるものとする事が出来た。

(オ) 新宿祭

新宿祭のステージ企画にて、本実行部 1 年生が 1 から企画を作り上げ、実践を経験することで次年度に繋げることができた。また運営面では、新宿祭実行部と協力することで、新宿祭の発展に貢献し、次年度以降の本実行部と新宿祭実行部の双方の運営の協力体制を強化する一因にする。

5. 総括

今年度の八王子祭は、新型コロナウイルス感染症による自粛明け全面開催初の去年を引き継ぎより発展させることができた。また過去最大に迫る来場者数の達成をすることで、例年より多くの人に八王子祭を還元することができ、新型コロナウイルス感染症を感じさせない八王子祭を開催することができた。

以上を 2023 年度学園祭実行委員会八王子祭実行部の総括とする。